

## リニューアルから5ヶ月 ～新しくなった美術館をご紹介～



光をふんだんに取り入れ、明るく開放的になったエントランス。  
前庭に設置されたウッドデッキは、日頃はお客様の憩いの場として利用され、イベントの開催時にはステージに早変わりします。  
美術館の新しい活用方法にご期待ください。



リニューアルオープンセレモニーでの山口鷲流狂言保存会による上演

リニューアル後、好評いただいているのは、畳敷きの展示室。  
い草の香りがのこる24帖の畳の上で、日本美術をゆっくりと落ちてご覧いただけます。  
最先端のLED照明の効果により、作品の色・形をより鮮明に見る事が出来るようになりました。



畳敷きの展示室

いつでも気軽にお立ち寄りいただけるフリースペース。スロープを新設した前庭や中庭(県美の森)の遊歩道を散策することができます。また、ミュージアムショップでは、紙を中心としたセレクトグッズをはじめ子どもたちが美術に出会うためにピッタリな絵本を用意。授乳室など子育て支援設備を整えて、小さなお子様連れのお客様にもゆっくりとご利用いただけます。総合案内では、美術から観光までのお問い合わせに対応するコンシェルジュが皆さまのお越しをお待ちしております。



四季を楽しむことができる中庭(県美の森)



広くなって充実した品揃えのミュージアムショップ

# 2012 - 2013 schedule

山口県立美術館 平成24年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
9	9/22(土・祝) - 12/24(月・休)	9/22(土・祝) - 12/24(月・休)	9/22(土・祝) - 10/28(日)	休室(-10/3)		
10	生誕100年プレ企画 松田正平小品展 -N氏の肖像	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その3〉 香月泰男  色で見る シベリア・シリーズ	〈雪舟と雲谷派3〉 桃山画壇の雄・ 雲谷等顔	10/4(木) - 10/21(日)  第66回山口県美術展覧会		
11			10/30(火) - 12/2(日)	休室(10/22 - 11/5)		
12	1/8(火) - 3/31(日)	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その4〉 香月泰男  作品でたどる 香月の「シベリア」	〈雪舟と雲谷派4〉 雪舟と雪舟流	11/6(火) - 12/24(月・休)	11/17(土) - 12/24(月・休)	
1			12/4(火) - 12/24(月・休)	大正・昭和 耽美の時代  特別展 大正ロマン昭和モダン展 竹久夢二とその時代		
休館(12/25 - 1/7)						
1	1/8(火) - 3/31(日)	1/8(火) - 3/31(日)	1/8(火) - 2/3(日)	1/8(火) - 2/3(日)	1/22(火) - 1/27(日) 第65回山口県学校美術展覧会	
2	美術の美は ビックリのピ	〈シベリア・シリーズ 大解剖! その4〉 香月泰男  作品でたどる 香月の「シベリア」	理想の楽園 -花鳥画の世界	中国絵画の世界	2/6(水) - 2/10(日) 山口県立大学卒業制作展	
3			2/5(火) - 3/3(日)	2/5(火) - 3/3(日)	2/14(木) - 2/17(日) 山口芸術短期大学卒業制作展	2/21(木) - 2/24(日) 山口大学教育学部美術教育卒業 修了制作展
	3/5(火) - 3/31(日)		京の日本画 森寛斎と森派	誠に申し訳ございませんが、 予定しておりました「大いなる大」展は、 工事のため中止とさせていただきます。		
			〈雪舟と雲谷派6〉 奇想と幻想の風景			

### Information

- 休館日  
月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
ただし、10月8日(月・体育の日)、12月24日(月・振替休日)は開館、翌火曜日休館  
臨時休館 12月25日(火) - 2013年1月7日(月)
- 9:00 - 17:00(入館は16:30まで)
- 料金  
コレクション展: 一般300(240)円 学生200(160)円  
※( )内は20名以上の団体料金。  
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方等は無料。  
※教育文化週間11月1日(木)~7日(水)は全ての方が無料。  
特別展: 別途定めた料金



山口県立美術館  
Yamaguchi Prefectural Art Museum  
〒753-0089 山口市龜山町3-1  
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
http://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 118

### Contents

生誕100年プレ企画 松田正平小品展 - N氏の肖像  
理想の楽園 - 花鳥画の世界

### 特別展

大正ロマン昭和モダン展 竹久夢二とその時代

### HEART2012

リニューアルから5ヶ月  
美術館講座室  
年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

## コレクション展

# 〈雪舟と雲谷派5〉 瀟洒な美意識 2/5 火 - 3/3 日

### 表紙作品解説

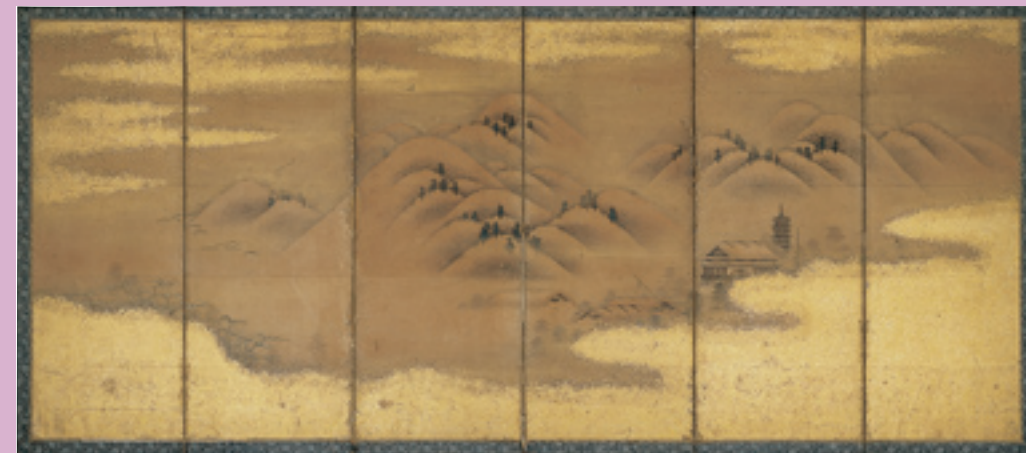
《山水図屏風(右隻)》雲谷等益筆 17世紀 山口県立美術館蔵

金箔と金砂子による雲と、金泥による霞で、画面の四周が囲まれています。中央に残された紙の地の上に、平べったいおにぎりのような形が積み重ねられた山並みが描かれます。山の頂には、やや濃いめの墨で、遠望された樹木がまばらに描かれ、山腹には薄墨による点々が打たれています。山の麓には、大きな家屋と、塔を持つ寺院とが頭を見せ、画面最左方の山の横には、雁が列をなして飛び、その下には白い花をつけた梅の樹が見えます。早春の夕暮れ時という設定なのでしょう。雪景色ではないのに山肌が白く見えるのは、あるいは霞でぼやけて見えるものと解釈することも出来るでしょう。

ただし、この屏風に描かれる風景は、画家が実際に目にした景色を画面に写した、というものではありません。日本の水墨画の歴史は、中国からもたらされた水墨画をお手本として「写す」ことによって形作られてきました。いわば「絵から作られた絵」がほとんどなのです。江戸時代初期の画家・雲谷等益(1591 - 1644)のこの「山水図屏風」も、そうした絵のうちのひとつです。

では、リアリズムから遠く離れたこうした絵の魅力はどこにあるのでしょうか。絵の見方は人によって違うので、答えはひとつで無いでしょうが、私はこの絵の魅力として、「金の輝き、そして濃く薄く使い分けられた墨の色」といった「絵の素材そのもの」の美しさを挙げたいと思います。「金色がきれい、墨の色がきれい」とは、まったく単純な話になってしまって恐縮なのですが、そうした「単純さ」を持ち続けていることが、日本絵画の美点のひとつだとも言えるのかもしれない。

(当館学芸員 荏開津 通彦)



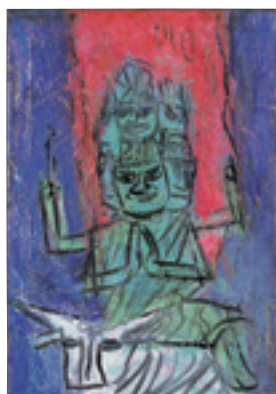
《山水図屏風(右隻)》雲谷等益筆 17世紀 山口県立美術館蔵

## コレクション展

### 生誕100年プレ企画 松田正平小品展 -N氏の肖像-

9月22日(土・祝)～12月24日(月・振休)

2013年、宇部にゆかりの洋画家、松田正平(1913～2004)は生誕100年を迎えます。愛犬や自ら育てたバラ、そしておよそ半世紀にわたって足しげく通った瀬戸内海の祝島など、身の回りの慣れ親しんだモチーフを真摯に描き続けた松田正平。その透明感溢れる色彩と味わい深い表現は、今もなお多くの人々を惹きつけています。生誕100年の節目を前に、昨年度、50点を超える作品の寄贈を受け、山口県立美術館の松田正平コレクションはさらに充実したものとなりました。今回の展示では、新収蔵品の油彩画、水彩画、素描の小品を中心に松田正平の多彩な魅力をご紹介します。



《大威徳明王》松田正平 1976年  
山口県立美術館蔵



《バラ》松田正平 1980年  
山口県立美術館蔵

### 理想の楽園 -花鳥画の世界

1月8日(火)～2月3日(日)

花鳥画は東洋において古来より親しまれてきた、伝統的な画題のひとつです。可憐な花々が咲き、数多の鳥たちが遊ぶ画面には、時に四季のすべてが同居します。そこは絵画だからこそ叶う、理想的な楽園でもあるのです。

挿図の狩野松栄「四季花鳥図」でも、水墨を基調とした山水景観を舞台に、右から春夏秋冬が順に展開していきます。穏やかな空気が漂う屏風に描かれたものをたどっていくうちに、花々の香りや鳥たちの鳴き声が広がる、画家が設えた楽園へと、貴方も迷い込んでいくことでしょう。

新春にふさわしい華やかな楽園—花鳥画の世界を、畳敷きのゆったりとした展示室でお楽しみください。



《四季花鳥図》狩野松栄 16世紀 山口県立美術館蔵



### 特別展 大正ロマン昭和モダン展

竹久夢二とその時代

11月17日(土)～12月24日(月・振休)

大正から昭和の初めにかけての30年間は、富国強兵の号令のもとで近代化を押し進めてきた明治期の日本には見られなかった新しい大衆文化が大きく花開きました。街には流行の最先端をゆくモダンボーイ、モダンガールが登場し、少年少女雑誌を中心にモダンでハイカラな風俗を描く挿絵画家が次々と誕生しました。大きな瞳の細身ではかなげな女性像を描いた竹久夢二(1884～1934)、シャープな線で華麗な美人像を描いた高島華宵(1888～1966)はその代表的な画家として一世を風靡しました。

本展は竹久夢二、高島華宵を中心に、露谷虹児、岩田専太郎、中原淳一、鍋木清方、伊東深水、橋口五葉らの日本画、版画、挿絵原画、絵葉書、楽譜、装丁本など約250点を展示し、時代の流行に敏感に反応した大衆芸術の華やかな世界を紹介しします。

■休館日：月曜日 ※ただし、12月24日(月・振休)は開館

■観覧料：一般900(700)円、シニア・学生700(500)円

※シニアは70歳以上の方。( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。

※18歳以下および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。



《港屋絵草紙店》竹久夢二 木版画  
大正3年



《花をいだいて(鈴蘭)》(原画) 高島華宵  
©弥生美術館

### 第6回山口県総合芸術文化祭

## HEART2012

10月4日(木)～21日(日)

今年で6回目を迎えるHEART。山口県美術展覧会を核とし、期間中、さまざまなイベントにより「ものづくり」とそれを通じた「コミュニケーション」の楽しさ・大切さを伝えていきます。

今年は「森」をテーマとしたイベントも開催。「県美展」と「県美の森」を通じて美術とものづくりに親しむことのできるプロジェクトです。

- アート・マート・ギャラリー 第50回以降の大賞・優秀賞作家有志による小作品の展示・販売
- 文化財レスキュー・チャリティー・カレンダー2013 販売(～年内)
- 小林顕作による「こどもとおとなのための読み聞かせ」10月8日(月・祝) 13:00～14:00 ※要申込
- 県美の森づくり 10月13日(土) 8:30～10:00 ※要申込
- 県美の森で遊ぼう～親子で学ぼうエコ・防災教室 10月13日(土) 10:30～14:30 ※要申込
- 関連企画 ・田辺武展 10月10日(水)～16日(火) 山口井筒屋5階 美術ギャラリー  
・ギャラリーナカノ関連企画展 10月3日(水)～10月23日(火) (全4企画)

詳細は、<http://www.yma-heart.jp/>をご覧ください。



### 第66回山口県美術展覧会

10月4日(木)～21日(日)

■休館日 10月9日(火)・15日(月)

■開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

■観覧料 一般500(400)円 学生400(300)円 ( )内は20人以上の団体料金  
70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する方等は無料です。

既成の枠にとらわれない、自由な表現が魅力の山口県美展。

今年も3人の審査員による厳しい審査をくぐり抜けた力作を山口県立美術館で展示します。

思いもよらない発想や超絶技巧に驚いたり、ほのほのとした作品に心なごんだり。

作り手の発想もそれぞれならば、作品を見る方の楽しみ方もそれぞれです。

会期中、作品を見る楽しさや、つくる楽しさを体験できるワークショップも実施します。

アートの楽しさを実感できる16日間。ぜひ山口県美展にご来館ください。

#### ワークショップ「木を楽しむ」 参加者募集中

A みんなでワイワイ・美術体験のコース「空想建築都市計画 ～並べて積む、木のぬくもり編」  
10月6日(土) 10:00～15:30

B ひとりでじっくり・制作集中のコース「明日のティータイムは小枝のフォークで」  
10月7日(日) 10:00～15:30

- 講師 榎本 寿紀(美術家)
- 会場 山口県立美術館
- 対象 小学4年生以上～一般
- 定員 各日とも16名(申込み先着順)
- 申込み方法 ワークショップ名・氏名・年齢・住所・電話番号を記入した往復はがき、またはe-mailでお申し込みください。なお、当館ホームページにある申し込みフォームからもお申し込みいただけます。お申し込みより1週間後までに返信がない場合は事務局にお問い合わせください。

■申込み・お問い合わせ  
〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館  
「県美展ワークショップ」係  
TEL 083-925-7788 e-mail : a19304@pref.yamaguchi.lg.jp



第65回山口県美術展覧会  
大賞受賞作品《風景》山根秀信

### 美術館講座室

～一般の団体もご利用頂けます～

春のリニューアル・オープンに伴い、別棟の美術館講座室も改装を行いました。入口を全面ガラス貼りの扉に取り替え、お手洗いや水回り設備を一新。室内も常設の大型スクリーンの設置や音響設備の更新を行い、パソコンを使用したセミナーや講演会なども気軽に開催することができる施設に生まれ変わりました。

美術館主催の講座やワークショップで利用することが多いのですが、この講座室は一般の団体もご利用頂くことが可能です。詳細はお気軽に美術館までお問合せ下さい。

#### 施設概要

- 収容人数 約80名(イス席の場合)
- 主な備品 電動式スクリーン、プロジェクター、マイク2本(ワイヤレスマイク、ピンマイク各1本)、ホワイトボード、長机、イス 等

#### 利用時間

9時から17時

※原則として美術館休館日はご利用頂けません。

#### お申し込み可能期間

- (1) 営利または宣伝を目的としない利用：利用日の1年前から
- (2) 営利または宣伝を目的とする利用：利用日の6ヶ月前から  
※美術館主催事業のスケジュール上、ご利用頂けない日程もございます。  
まずは美術館までお問合せ下さい。

